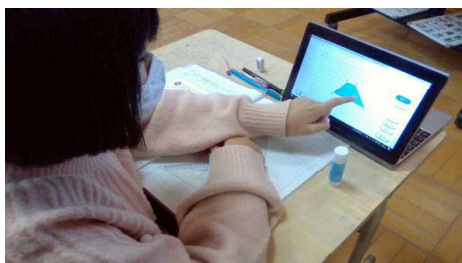


5年 算数科 「四角形や三角形の面積」

- 「まなびリンク」のシミュレーション機能を用いたことで、図形を切る、動かす、回転する、コピーするなどの様々な操作がしやすくなり、進んで自力解決に取り組むことができた。
- 自力解決や学び合いの場面でICTを活用したことで、一人一人の子どもが自分の考えをもち、学び合いに参加することができた。課題解決への意欲も高まった。
- グループの学び合いでは、タブレットとノートのどちらを用いるかを自己選択できるようにしたことで、自分の考えに合った表現方法で考えを説明することができた。
- ◆「まなびリンク」上で操作した図形や書き込みを学習の足跡としてどのように残していくかが課題である。タブレットとノートのよさを生かした記録の方法を検討していきたい。
- ◆台形の面積の求め方を、変形した「形」や、式で使った「数」に着目して共通点を見つける場を設定したが、2つの視点だけでは焦点化することができなかった。次時の公式をつくる学習活動に生かすために、話し合いの視点や発問を吟味する必要がある。



【「まなびリンク」を用いた自力解決】



【同じ考えの友達が分かる座席表】



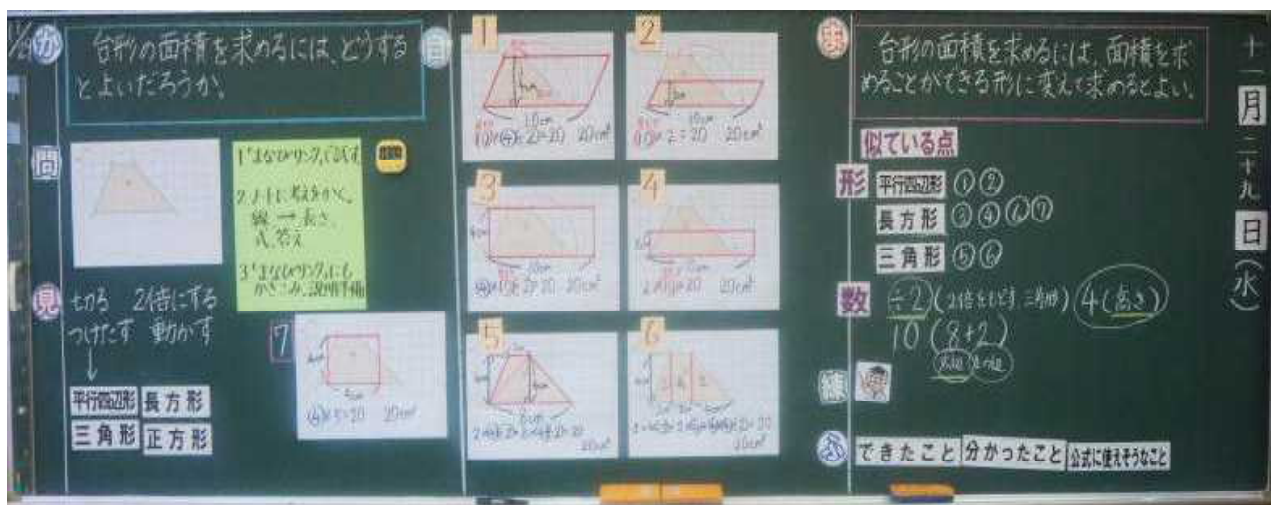
【ノートでの学び合い】



【タブレットでの学び合い】



【全体での学び合い～T1が板書、T2が「まなびリンク」の操作～】



【「形」や「数」に着目して共通点を整理した板書】